| 題材名・単元名 | 学部 | 授業名（主たる教科領域） | 授業者 |
|---|---|---|---|
| 「おおきなかぶ」あそび | 小 | グループ学習<br>ことば・あそび<br>ウミガメグループ<br>（国語・算数） | |

＜ねらい＞
・ペープサートや再現遊びを通して、物語の場面や言葉の面白さを感じたりする。
・教師の模倣をする中で、言葉や身振りで表現する力を広げる。

| 学習内容 | 学習活動 | 指導上の留意点・準備物 |
|---|---|---|
| 1．あいさつ | ・着席し、２の指を出して挨拶する。 | ☆指導上の留意点、〇準備物 |
| 2．呼名 | ・友達や教師の名前を呼び、顔写真をマッチングさせる。<br>・自分の名前を呼ばれたら返事をする。 | 〇名前カード、顔写真 |
| 3．ペープサート<br>「おおきなかぶ」 | ・興味をもって読み聞かせを見聞きする。<br>・教師に示された登場人物を選んだり、「うんとこしょどっこいしょ」「ぬけませんん」「おーい、〇〇！」「はーい」の台詞や身振りを模倣したりする。 | 〇ペープサートセット<br>☆児童から台詞や動きが出やすいように抑揚を付けて読んだり、必要に応じて繰り返し読んだりする。 |
| 4．再現遊び<br>「おおきなかぶ」 | ・自分がしたい役を選び、写真カードを貼り、メダルを身につける。<br>・教師の模倣をしながら場面にあった動作をしたり、台詞を言ったりする。<br>・かぶ役の教師と引っ張り合い遊びを楽しみ、かぶが抜ける物語の展開を味わう。 | 〇顔写真、メダル、かぶ衣装、かぶ紐、台詞カード<br>☆模倣しやすいように前で教師がモデルとなる。<br>☆児童が手応えを感じられるように、かぶ役の教師は紐を引っ張ったり緩めたりして調整する。 |
| 5．あいさつ | ・着席し、２の指を出して挨拶をする。 | |

＜内容（工夫点など）＞
場面がわかりやすく、動作化を楽しめる「おおきなかぶ」を選んだ。

＜良かった点・改善点（児童生徒の反応を含め）＞
かぶ役の教師が強弱を付けて紐を引っ張ることで、児童が手応えを感じ、力いっぱい引っ張れるようになった。集団に入りづらい児童もいたが、紐をそこまで伸ばしてみんなで引っ張ることができた。再現遊びを楽しむ中で、ペープサートも楽しんで児童自身から台詞や動きが出ることが増えた。しかし、物語も授業も繰り返しの活動になったので退屈そうな児童もいたため、ペープサートの発問の仕方や、再現遊びのときの衣装・セットなど工夫するべきだった。